

令和5年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文で、段落相互の関係を読み取ることに課題がある。 ・読書に親しみ、自分なりの言葉で感想をもち、段落を考えて書くことが課題がある。 ・語彙力が足りずに、適切な表現ができないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の内容を短くまとめたり、重要な言葉を捉えたりする活動を繰り返し行う。 ・身近に1冊の本をもち、読書習慣を付けると共に、作品紹介する機会をもつ。 ・新出漢字を使って熟語をたくさん作る。漢字検定に向け目標をもち、朝学習で練習する。 	B	B
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の意味を理解して取り組んだり、分からないことを粘り強く考えたりすることに課題がある。 ・自分の考えを図や式を用いて表現したり、友達と意見交換したりすることに課題がある。 ・分度器やコンパス等の用具の特性を理解し、適切に図や図形を描くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を工夫して意欲を高め、目的意識を明確にする。計算タイムを設け、基本の計算力を付ける。 ・自分の考えを表現する様々な方法を取り上げ、友達との交流場面を積極的に設定する。 ・日常的に用具を使うことで、操作に慣れさせ、適切に使えるようにする。プログラミング的思考を生かしていく。 	B	B
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を楽しむが、そこで得た結果を正しく記録することに課題がある。 ・得た結果から、何が分かるかを考察することに課題がある。 ・学びを実生活に生かしていくことに結び付いていないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる視点や目的を明確にしてから、観察や実験に取り組むようにする。 ・ノートや観察カードを友達と見合い、互いの良さに気付くように、交流する機会を多くする。 ・実生活の中で、学んだことに関係する話題を探したり、紹介したりする。 	B	B
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真から情報を読み取り、気が付いたことを書くことに課題がある。 ・学習課題を見い出すことが難しい児童がいる。 ・学習課題に対して、調べたことを適切にまとめ表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真から分かる事実を共有することを大切にして、資料を読み取る力を養う。 ・生活経験を想起させて交流したり、資料を比較して違いを見付けたりして、課題作りにつなげる。 ・振り返りで大事なことを落とさずにまとめる習慣を付けていく。 	B	B
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などの関わりに対する気付きが少ない。 ・自らの思いや意図をもって表現することに課題がある。 ・全体としては楽しそうに歌ったり演奏したりしているが、少人数での演奏になると、極端に失敗を恐れ消極的になる傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の際には、どんな感じがしたか、また音楽の構造などの関わりについて丁寧に確認する。 ・ペアやグループでの活動を通して、表現に対する思いや意図をもちやすくする。 ・互いを認め合う雰囲気を大切にしながら、必要な技能のさらなる習得を目指す。ペア活動で聴き合うことから始め、徐々に自信をつけさせていく。 	B	B
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの表現を見付けて、意欲的に作品に取り組む児童が多い。粘り強く丁寧に取り組む半面、期限内に完成しないこともある。 ・困難な事や進度が遅れた際、前向きに取り組むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階見本、ICT機器を活用して活動の流れを視覚的に分かりやすく示したり、系統的に学習を振り返ったりすることで、児童が見通しをもって安心して取り組むことができるようにする。 ・自己解決出来るような選択肢を提示し、スモールステップで成功体験を重ねられるようにする。 	B	B
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験の有無により、技能習得に個人差がある。 ・実習や製作を行う際に、自ら考え進めることに慣れていない。 ・作品作りで、工夫を加えたりイメージを作ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫い、ミシン縫いなど繰り返し行う機会を計画する。家庭学習に組み込むことを増やす。 ・少人数グループによる学習を多くし、自ら考えたり進めたりするための方法を学び合う。 ・作品へのイメージが膨らむように作品例を提示したり互いに鑑賞したりする機会を増やす。 	B	B
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を高める前に、あきらめてしまったり、意欲的に取り組めなかつたりすることがある。 ・どこができていないか課題を捉え、友達と教え合ったり、聞き合ったりすることに課題がある。 ・日常的に、体を鍛え、自分の体力向上に向け、取り組んだりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な場で自分に合う練習方法を選択して、運動の楽しさを味わうことができるようにする。 ・友達と見合う場を大切にし、ポイントを捉えた教え合いができるようにカードを工夫する。 ・南スポチャレンジを活用し、楽しく運動の日常化を図り、体力の向上を目指す。 	B	B
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 ・英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のあいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。 ・インタビューやグループワーク、発表など友達やALTとの英語での交流活動を積極的に設定する。 	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。